



小山台中学校だより

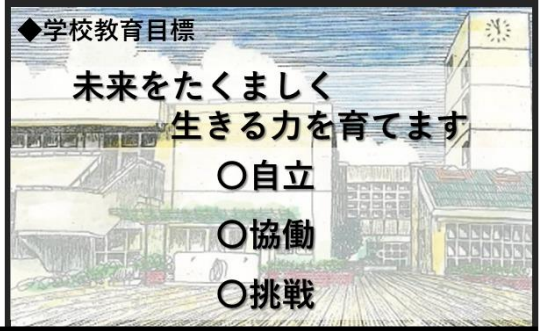
R04-10号 令和5年3月3日(金)発行

- ◆発行 横浜市立小山台中学校 〈住所〉横浜市栄区小山台1-14-1
- ◆校長 三浦 昌彦 〈電話〉892-7512
- ◆副校長 榎淵 祥子 〈FAX〉893-4638
- ◆教職員一同

◆学校教育目標

未来をたくましく
生きる力を育てます

- 自立
- 協働
- 挑戦



～幸せになりましょう！～

校長 三浦 昌彦

令和4年度も「新型コロナウイルス感染対策」の年となってしまいました。しかし、3月13日には「マスク着用について、屋内外問わず個人の判断に委ねる」また、5月8日からは「新型コロナの感染症法における位置づけを5類に」という方針が政府より発表されました。実際に「新型コロナウイルス感染の終息(収束?)」は、いつになるか分かりませんが、こんな世の中でも人は生き抜いていかななくてはなりません。将来、世界に貢献できる人になり、全ての人々が笑顔で過ごせる社会を創っていきましょう。

3月号では、「コヤ中生」に伝えたい言葉、第2弾を紹介します。

- ① 成功したら幸せになれるのではない。先に幸せであることが成功を生むのだ。
もしあなたが今の仕事に幸せを感じているのなら、必ず成功するだろう。
- ② ポイントは「～になりたい」ではなく、「～です」「～なりつつある」「～である！」と言い切ることです。
- ③ 道を阻むすべての「壁」は、ワクワクした瞬間に、あなたを新しい空間へと導く「扉」となるのです。

そして最後に私が大好きな「松下幸之助」さんの言葉を贈ります。

「本を読んで勉強している子どもがおるやろ。そんな子どもらが、夜になって暗くなったら字が読めなくなって、勉強したいのにできなくなる。そこであんたの磨いた電球をつけるんや。そうしたら夜でも明るくなって子どもらは読みたい本を読んで勉強できるんやで。あんたの磨いているのは電球やない。子どもの夢を磨いているんや。もの作りはものを作ったらあかん。その先にある笑顔をつくるんやで。」

結びになりますが、すべてに対して「決してあきらめないでください」。そして、諦めずに『努力』を続けることは大切です。そして、みんなで一緒に幸せになりましょう。

3月の主な予定

- 1日(水) 専門委員会
- 2日(木) 3年生 球技大会
- 6日(月) 卒業式予行練習
- 7日(火) 卒業式準備(午後)
- 8日(水) 卒業証書授与式
- 19日(日) 栄区ヤングフェスティバル(駅伝大会)
- 23日(木) 大掃除
- 24日(金) 離任式・修了式
- 26日～4月6日 年度末・春季休業

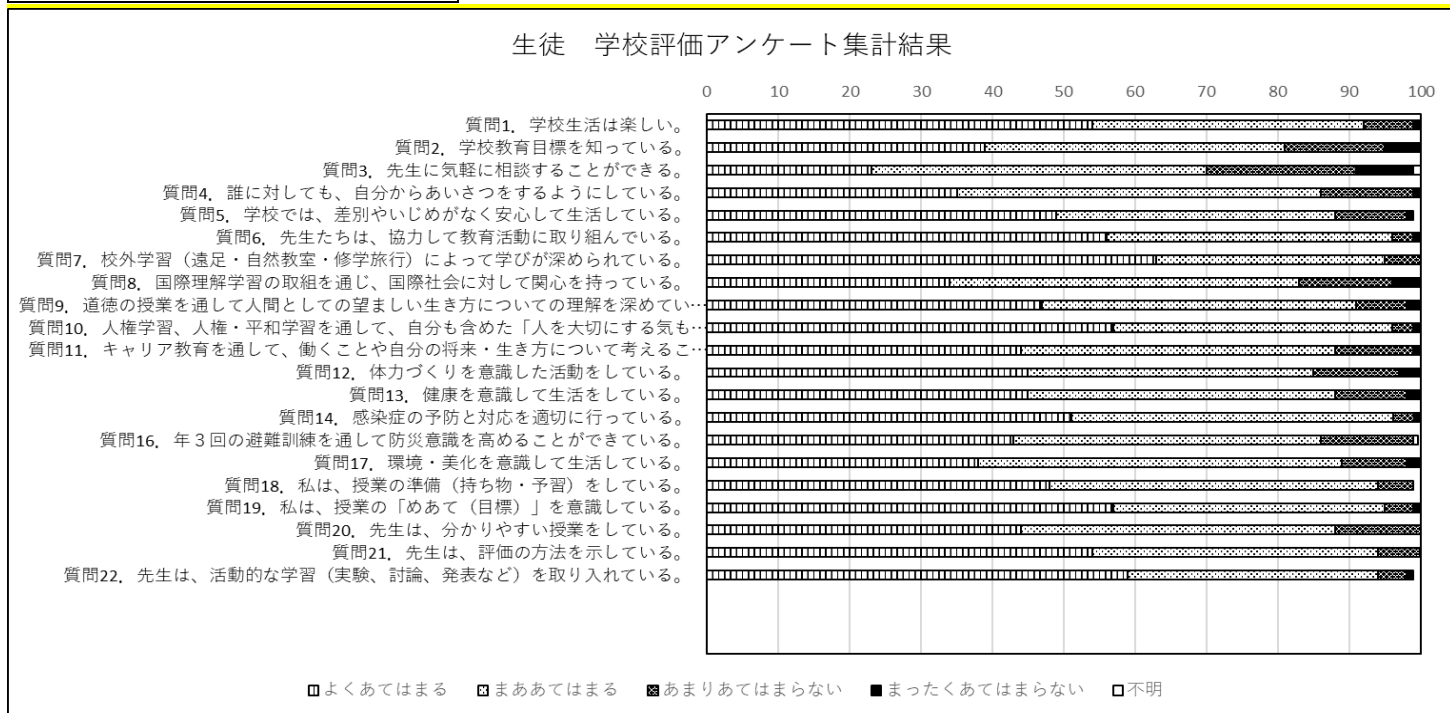
4月の主な予定

- 7日(金) 着任式・始業式・入学式
- 10日(月) 離任式・新入生を迎える会
- 14日(金) 授業参観 学年学級懇談会
- 18日(火) 3年生 全国学習状況テスト
- 27日(木) 横浜市学習状況テスト
- 28日(金) 授業参観・学校説明会・PTA総会

*4月は変更になる可能性もあります。

小山台中学校 学校評価アンケートの集約と考察

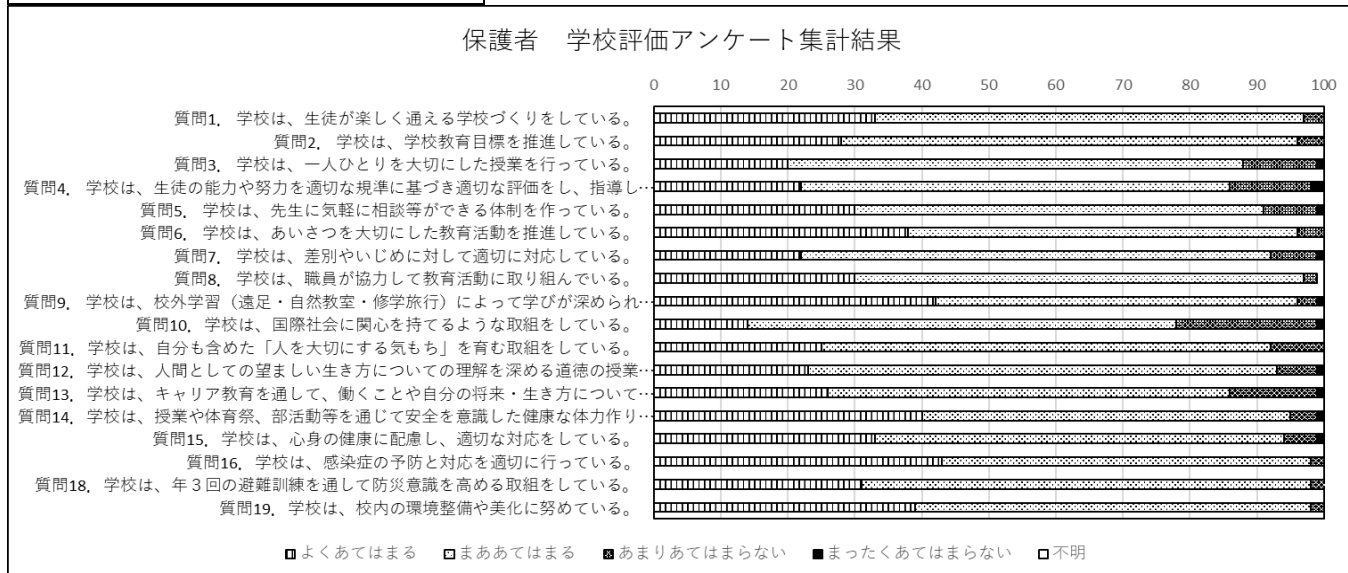
資料1 生徒アンケートの集計結果



1 生徒のアンケートから

今年度も昨年度同様9割の生徒が学校生活は楽しいと答えている。授業がわかりやすいと思っている生徒が多いが、評価基準などを具体的に教えてほしいという声もあった。各授業で伝えているかと思うが、より一層意識して伝えることが必要である。自分からあいさつできる生徒が多く、あいさつ運動の成果が出ているので継続していきたい。感染症対策については、年間を通して意識していたので、予防と対策のアンケート結果が高かった。先生に気軽に相談できないと感じている生徒が例年同様70%と他に比べると低い数字となっている。来年度以降も日頃の生徒との関わりを増やし、多くの生徒との信頼関係を築いていきたい。また、教科指導について評価方法や学習活動の意味づけなど、丁寧に説明していくことが必要である。

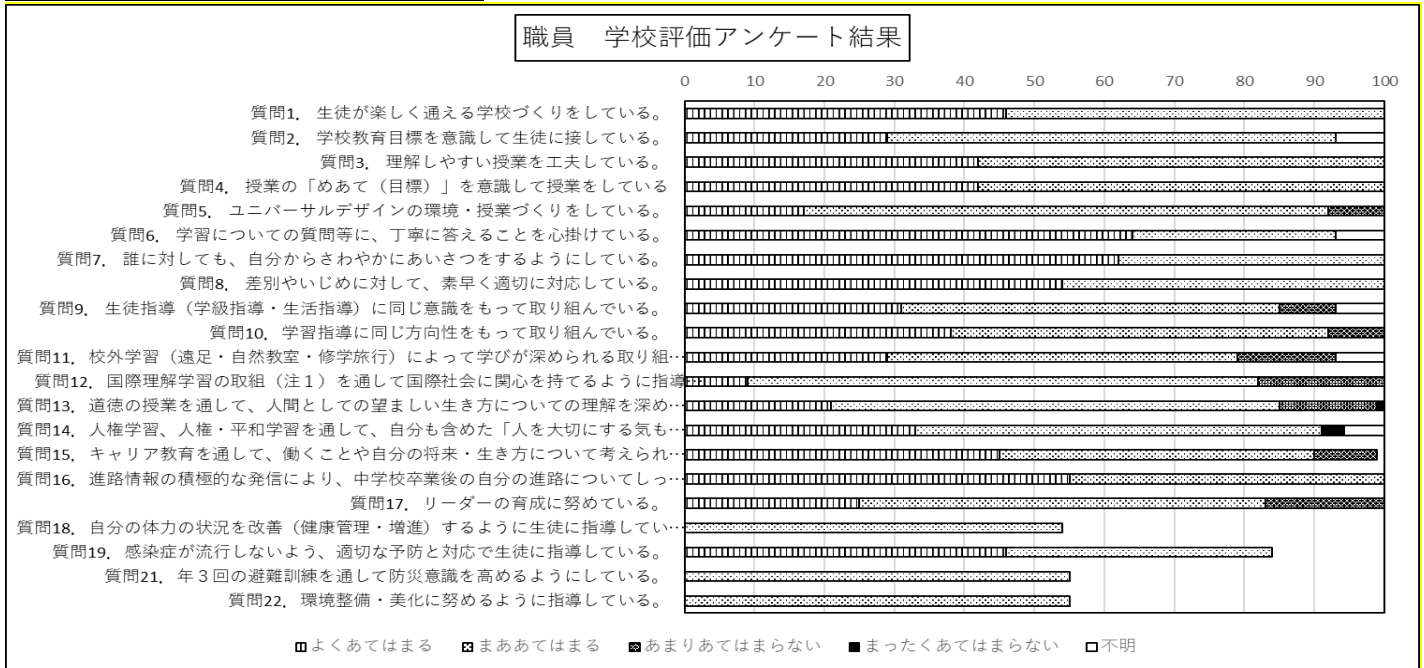
資料2 保護者アンケートの集計結果



2 保護者のアンケートから

生徒が楽しく通えていると感じている保護者やあいさつに対して高い評価を得られている。全体的には学校に対して高い評価をしている保護者が多い。昨年度よりは学校に行く機会が増えたため、わからないと回答する保護者が減ってはいるが、まだまだ学校がどのような取組をしているのかが分からず、アンケートに答えられない、わからないという項目を作ってほしいという保護者も一定数いる。昨年度同様、現在行っている学校便りやホームページの内容の充実などを今後も図っていく必要がある。

資料3 教職員アンケートの集計結果



3 教職員のアンケートから

今年度も職員の意識は昨年度と大きく変わらず、丁寧な対応を心がけ、分かりやすい授業づくりに努めている職員が多いとわかる。また生徒同様あいさつに対して意識をしている職員が多く、継続していきたい。感染症が流行しないよう、適切な予防と対応で生徒に指導しているという項目についてはあてはまる、まああてはまるとほとんどの職員が答えた。コロナに関しては少しずつ緩和してきているが、継続して感染症の予防を意識しながら、わかりやすい授業を心がけていく必要がある。

4 地域のアンケートから

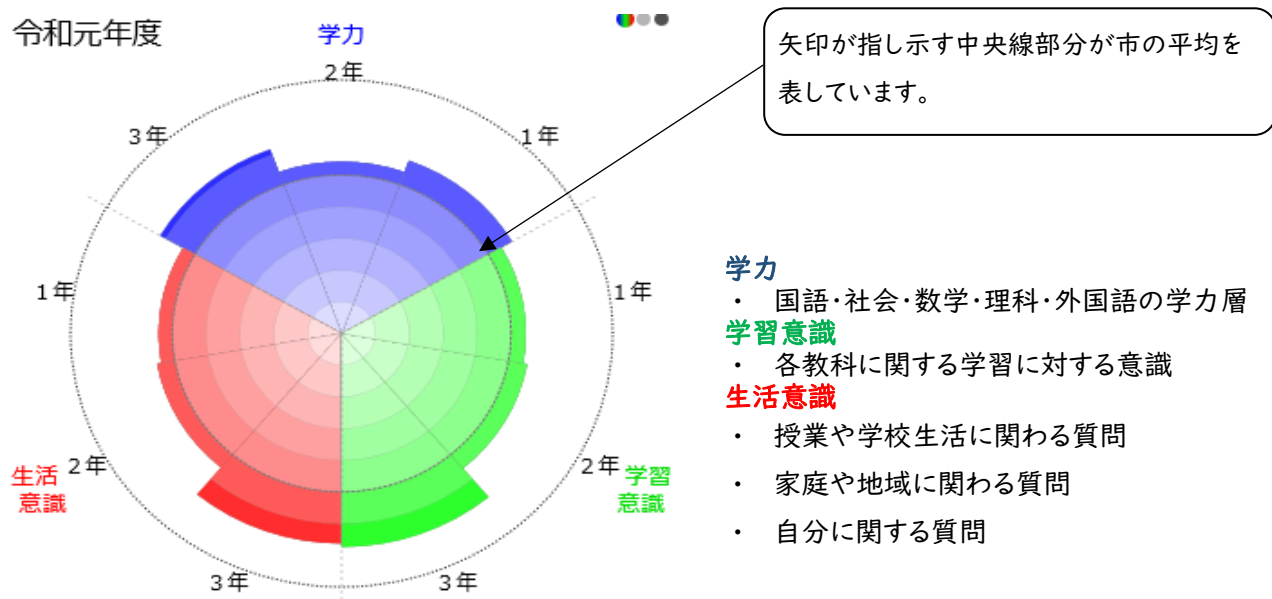
地域の方々にとっては、やはり、中学校の教育活動や学校の様子についての情報は回覧板等で学校便りを見ていただくことが主である。学校便りの紙面の工夫や内容の一層の充実を図っていくことが大切である。また、近隣の施設、関係機関にも見ていただけるよう郵送、届けるなどの形でお渡しすることも続けていきたい。

今年度、地区懇談会の分科会を開催し、地域の方々、PTA、教員、生徒が顔を合わせて意見交換できたことは、地域で生活するという認識を改めて実感できた場となった。また、生徒会活動の取組を生徒たちに報告してもらったことや、地域で生活する中学生としてできることの意見交換を通して、生徒たちの姿をみていただけるよい機会になったと思う。

特に、あいさつ運動への取組についての評価は、コロナ禍にも関わらず評価していただけている。地区懇談会での生徒たちからの情報発信や、地域ケアプラザとの交流などの成果ではないかと考えられる。あいさつの大切さについては、地域や関係機関の方々も同じ考えをお持ちなので、今後もまず校内でできることを続け、その取組についての情報発信を行っていききたい。

自由記述には、地域の方々からのたくさんの励ましのお言葉をいただいた。なかなか直接顔を合わせる機会を持つことは難しいが、地域の中の学校であることを忘れず、できることを探り、続けていきたい。

横浜市学習状況調査(令和4年度)の結果報告



(1) 学力・学習意識について

全体的に学力は市の平均を上回っている。学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりしていますかという質問には、「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合は9割近くになり、市の平均を上回る。また、自分の考えを相手に伝えるように話していますかという質問も「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合が9割を超えている。今後もコミュニケーション能力を高め、協働して問題解決する力を育成するため、課題設定や教材の工夫等、授業改善に継続的に取り組む必要がある。

(2) 生活意識について

各学年、毎日、朝食をとっている生徒の割合が多い。1・2年生については7時間以上睡眠をとれている割合が8割以上である。3年生においては、学習時間が増加する一方で睡眠時間が少し減少する傾向がある。また、地域の行事への参加率も市の平均を上回る。学校は安心できる場所ですかという質問には、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた割合が9割を超える。今後も、いろいろな場面で生徒の主体的な活動を支援し、生徒の規範意識の向上やコミュニケーション力を高めていくことが必要である。

(3) 各教科より(課題と今後の取組)

○国語科: 文学的な文章、説明的な文章の読解については一定以上の力が身につけているが、特に1,3年生での情報活用の分野に課題が見られた。今後、漢字等の基礎基本の定着を図りつつも、資料から情報を読み取ったり、集めた資料を活用したりする活動を設定する。

○社会科: 取り組む姿勢は概ね良好であり、基礎的な知識は身につけている。知識を活用した資料の読み取りにおいてやや課題が残る。今後は、資料の活用と共に考察を文章で表したり発表したりなどの言語活動を充実させていく。

○数学科: 各学年ともにすべての分野において思考力を生かした問題解決が高い水準でできている。空間図形の分野における測量等の技能に各学年ともに課題が見られるため、ICT機器を活用してイメージを明確にもたせる等の工夫をして力を高めていきたい。

○理科: 各学年とも実験・観察における技能や基礎知識は身につけているが、思考力の活用に課題が残る。

今後の学習において、既習の内容と関連付けて根拠を示しながら仮説を立て、観察、実験の計画の段階から考察に至るまでの過程において、課題の解決に向けた思考力を深める活動を展開する。

○外国語科: どの観点においても基礎・基本を身に付けている。英語を聞いて詳細を理解するところに課題が残る学年もある。コミュニケーションを行うのに必要な表現を理解し、練習した上で、生徒が主体的に伝え合う場面や活動を設定する。